

平成19年度第1回兵庫県入札監視委員会 議事概要

| | | | |
|-----------------------------|---|--------|--------|
| 開催日及び場所 | 平成19年5月29日(火) ひょうご女性交流館501会議室 | | |
| 委員 | 根岸 哲 (甲南大学法科大学院教授) 安室 憲一 (兵庫県立大学経営学部教授) 木村 治子 (弁護士) 土居 鹿男 ((財)兵庫地域政策研究機構評議員) | | |
| 審議対象期間 | 平成19年1月1日~平成19年3月31日 | | |
| 議案1(1)入札及び契約手続の運用状況等の報告 | 西村委員欠席 | | |
| 議案2(2)抽出した工事に係る入札及び契約手続等の審議 | | | |
| 抽出案件 | | | 総件数 7件 |
| 一般競争入札 | | | 1件 |
| 公募型指名競争入札 | | | 1件 |
| 指名競争入札 | 5件 | | |
| 委員からの質問・意見 それに対する回答等 | 質 問 | 回 答 | |
| | 別紙のとおり | 別紙のとおり | |
| 委員会による意見の具 申又は勧告の内容 | な し | | |

別 紙

| | 質 問 | 回 答 |
|---|--|---|
| 1 | <p>入札及び契約手続の運用状況等の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 入札参加資格の制限を行った2者への制限理由が、「落札決定したにもかかわらず、正当な理由なく契約締結を拒んだため」とあるが、なぜ拒んだのか。 | <ul style="list-style-type: none"> 1者は、契約の際に必要な契約保証金の工面ができなかったため。もう1者は、工事現場に配置しなければならない専任技術者を置けなかったためである。 |
| 2 | <p>抽出した工事に係る入札及び契約手続等の審議</p> <p>(1) 一般競争入札：中播磨県民局（姫路土木事務所）発注 「兵庫西流域下水汚泥処理事業 兵庫西流域下水汚泥広域処理場 1.2系溶融炉改築工事」 （総合評価落札方式を採用）</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般競争入札であるにもかかわらず、入札参加は1者だけなのか。 2者の応募でも少ないと思うが。 <p>(2) 公募型指名競争入札：阪神南県民局（西宮土木事務所）発注 「兵庫東流域下水汚泥広域処理場 焼却炉建築工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> この施設は、焼却炉を収納するものか。 <p>(3) 指名競争入札：農林水産部（但馬高原林道建設事務所）発注 「災害関連緊急地すべり防止事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> 指名した10者の入札参加者はどのようにして選定したのか。 地元の企業には、さく井工事の監理技術者はいないが、構わないのか。 <p>(4) 指名競争入札：阪神北県民局（宝塚土木事務所）発注 「川西篠山線 電線共同溝整備工事（第1工区）」</p> <ul style="list-style-type: none"> (3)の工事は10者を指名したが、当工事は15者を指 | <ul style="list-style-type: none"> 広く参加を求めた結果、応募は2者あったが、1者が指名停止を受けたため、資格確認の取消しを行った。 このような場合に入札が成り立つことは、国土交通省等に確認している。 入札参加が見込める対象者は複数あったが、非常に特殊な工事であり、実施設計、施工、維持管理等に係る技術提案も求めたことから、少なかったのではないか。 焼却炉に隣接する建物であり、地下は配管室、1階から3階には処理水槽や電気室などを設ける。 官公需法による地元中小企業者等の受注機会の拡大の主旨もあり、地元の企業を選んだ後、地元以外の企業について、さく井工事の監理技術者の多い順に選定した。 ボーリング工事に対応できる監理技術者がいるので、適正はあると判断した。 (3)は工種がボーリング・グラウトで、本工事は一般 |

| | | |
|---|---|---|
| | <p>名したのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度から実施している制限付き一般競争入札も地域性を重視しているが、指名競争入札と同じような形になるのか。 <p>(5) 指名競争入札：北播磨県民局（社土木事務所）発注 「加古川水系 美囊川 災害復旧工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> 指名に際しては、同一市内に本店を有する企業30者のうちから、6者を選定したのか。 当入札は電子入札ではなく紙での入札を行っているが、電子入札の実施状況はどうか。 <p>(6) 指名競争入札：企業庁（北摂広域水道事務所）発注 「薬品注入設備整備」</p> <ul style="list-style-type: none"> 再度入札では4者が辞退しており、不審に思うが。 <p>(7) 指名競争入札：警察本部（会計課）発注 「森北町1丁目ほか4か所交差点 交通信号機設置工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> 入札金額の最高と最低の差が100万円程度しかないが、概ね金額は決まってしまうのか。 全体的に信号機に係る工事の入札の落札率は高く、入札について分析して説明する必要がある。 | <p>土木工事である。一般土木工事は業者数が多いので、昨年度まで一般土木工事では、指名数を15者に増やして入札を行っていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今までより広く、20者以上が入札に参加できるように地域要件等を設定することとしている。 当工事の対象となるランクにある企業のうち、総合数値が上位の企業から6者を選定した。 昨年度は予定価格1,000万円以上で電子入札を試行したが、当工事は金額的に電子入札の対象外であった。 1,000万円未満をどうするかについては、今年度は1,000万円以上で電子入札を本格的に実施しているが、検討したい。 2回目の入札は、入札執行者の目で1回目の直後に行っている。 1回目の入札で入札執行者が札を読み上げた後、企業の判断もあり、辞退されたのだと思う。 今年度からは指名競争入札を行う場合でも、指名数を拡大するので、辞退状況の検証を行っていきたい。 交通信号機設置工事の機器は警察庁で定めた仕様に基づくもので、過去の実績等から企業としても入札金額が固まってくる。 昨年までは指名競争入札で8者を指名していたが、今年度から2,000万円以上の工事は制限付き一般競争入札を行い、20者以上の参加を見込むので、検証を行っていきたい。 |
| <p>その他：政府調達に関する苦情処理、建設工事に係る再苦情処理について</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回は、無かった旨、事務局より報告。 | | |